と出会ったのは22年前の 西ロータリークラブに入 めさまざまなクラブ行事 勤務し営業を担当してい ホテルの立場でサポート ことです。私はホテルに を会員の皆さんとともに た関係で、定例会をはじ てまいりました。 1年前、縁あって豊田

田

幸

びご夫人のお祝いの発表 活動委員会に属し、 回の親睦例会と会員およ 云させていただき、

を委員長のご指導の下、

私がロータリークラブ



ホテルマンとし ての自分ではな

タリアンとして く、一人のロ

今の自分にできることに挑戦 しかしてきませんでし た。そして昨年、クラブの の目的である奉仕につい状態が続いていました。 て深く考えたこともな 業に従事する者として何 の内面が見えてきたよう りたいと思います。 /、表面的なお付き合い 員になっても、ホテル ますがロータリークラブ 常に持ち続ける自分であ より、少しずつではあり 種の方々と触れ合う事に を通じて、より深く他業 その中で、クラブ行事 楽しんでいきたいと思っ から「今の自分にできる ています。そして、そこ 事は何か」という課題を いろいろな行事に参加し

微力ながらお手伝いさせ たにもかかわらず、本来 としての自覚が持てない 、親睦ていただきました。 しての対象であり、長年め、気持ちの切り替えが理解し、追求するのには、 ータリークラブは顧客と ながる事が多分にあるた ロータリアンと接してきなかなかできずに、会員 今まで、私にとってロ 時、直接、会社の利益につ が貢献できるかと考えたな気がします。 である「奉仕の理想」を もう少し時間がかかると 思いますが、これからは ロータリーの基本理念